

あなたの周りに"突然"
家族や友人を亡くした方はいませんか？

大切な命の話です。
真相究明を！

テレビ・新聞が伝えない異常事態
死者数の不自然な増加
約20万人
2022-23年計



私たちには知る権利があります

オンライン署名
で政府を動かそう！

期限：24年5月20日



政府見解は
「問題なし」！

その判断根拠は
ワクチン会社から
金銭授受歴のある審議会！

<https://wch-japan.kifusuru.net/petition/>

- 【署名Ⅰ】死者激増の説明を求める
- 【署名Ⅱ】ワクチンの薬害と死亡の説明を求める
- 【署名Ⅲ】国際保健規則（IHR）改定とパンデミック条約に反対する

スマホでQRコードを読み込み、簡単に署名ができます。

ワールドカウンシルフォーヘルスジャパンの

100万人署名運動

～すべての人が健康と幸せを自由に選べる世界に～



World Council
For Health
Japan

■死亡者の不自然な増加、原因は何？

国は原因究明も対策もしていません。

2022年以降の年間死者数が、それ以前と比べて劇的に増加していることにご注目ください。青いライン（高齢化等による自然増）をはるかに超える異常な増加の原因について、国はしっかり究明し、国民に説明するべきです。



■明らかになった新型コロナワクチンの健康被害

健康被害者数は1万件、予算は当初想定の110倍！

新型コロナワクチン接種後、予防接種健康被害救済制度への申請数は1万件を突破。さらに同制度に関する予算は、当初の110倍、397億円に激増。つまり国の当初想定をはるかに超える健康被害が現実には起きていることを示します。

この新型コロナワクチンによる死者数を「同じ接種回数、同じ属性（65歳以上の高齢者）」のように条件を揃えて、季節性インフルエンザワクチンと比較すると、94倍の378名！従来認可されてきたワクチンより遙かに危険な代物であることがわかります。

申請の難しさを加味すると、これらは氷山の一角の可能性が高く、過去に例を見ない薬害被害になる可能性があります。現に福島京大名誉教授が雑誌にワクチン被害を発表するとたちまち大きな反響を呼び、被害者の痛切な声が続々と寄せられています。

【主な健康被害】

- ターボ癌（急速進行性）
- 心筋炎
- 血栓症
- 腎疾患
- 自己免疫疾患
- 月経異常
- 带状疱疹
- リウマチ

その他にも、倦怠感、歩行困難、脱毛症、難聴、失明など、ほぼ全身に！

多くの被害者が声を上げることが出来ないか、上げても無視され、悩んでいます。

NHKをはじめとする大手メディアがワクチンの危険性を報じなかったため、ワクチン被害者の多くは泣き寝入りを余儀なくされています。一方、世界では新型コロナワクチンによる健康被害を扱う論文数が既に3000件を超え、特に、免疫を抑制してしまう悪玉抗体（IgG4）の誘導を示す論文が出た頃から、ワクチンとしては致命的と見なされ、ほぼ全ての国で接種する人が激減しました。

ワクチン推進一辺倒を、今こそ、科学的な見地から検証し見直すべきではないでしょうか。

65歳以上の死亡認定数比較	
インフルエンザワクチン	新型コロナワクチン
死亡認定 4名	死亡認定 378名
1億7922万回 総接種回数 (2012-21年度)	1億9308万回 総接種回数 (2022-24年3月)

健康被害詳細



ところが、立ち止まるべき日本政府とWHOが暴走しようとしています。

■2024年5月、WHOが大きく変貌しようとしています

WHO(世界保健機関)が世界の人々を強制管理する機関に!?

WHO(世界保健機関)は世界の人々の健康水準を高めることを目的に設立された国際機関です。

ところが本年5月に、従来規約の大幅変更（国際保健規則 IHR 改定とパンデミック条約）によって、WHOは勸告する機関から法的拘束力をもつ統治機関に変貌しようとしています。



- 情報の検閲
- ワクチン接種の義務
- 「個人の尊厳・人権・基本的自由の尊重」を削除

日本は、このWHOのトンデモ規約変更を自ら進んで受け入れようとしています！

上川陽子外相はこのWHOの改定について「国会審議なしに拘束力を受け入れます」と国会答弁しました(24/2/27)!! 国家が本来持っている憲法などの防波堤に自ら進んで大穴を開け、WHOに隷属する道を開きつつあるのです。

このままでは、国のあり方が根底から変わりかねない、非常に危険な状態にあります。

憲法で保障されている

自由と人権を守るのは今です！

ダメ！
絶対！

× 言論統制

× 強制接種



今こそ日本政府に意思表示しましょう！

